

活 動 報 告 書

(第 15 期)

自 平成 28 年(2016 年)4 月 1 日
至 平成 29 年(2017 年)3 月 31 日

特定非営利活動法人
地域総合スポーツ倶楽部・ピボットフット

東京都大田区中馬込 1 丁目 1 番 17-504 号

2016 年度活動報告

I. 総括

活動 15 年目の 2016 年度は、2017 年 3 月スポーツ庁において第二期スポーツ基本計画が策定され 2020 東京五輪を迎え、そのレガシーも含め、スポーツを軸に社会を変えるとの画期的な内容が発表されました。具体的な方針が国から発表されいよいよスポーツ行政が大きく変化し始める年でもありました。東京五輪を支えるためにもますます地域スポーツクラブが日本国内でスポーツ界を支える地域の原動力として、また、地域社会の課題解決プラットフォームとしても重要な役割を担うことになると考えられます。

あらためて日本のスポーツ界を底辺で支える我々地域スポーツクラブの地道な活動が国民生活にとって必須となり今後の展望に期待できるようにも思います。

1. 2016 年度は、国の基本計画を審議する第二期スポーツ基本計画審議会に理事長が委員として委嘱され、地域スポーツに携わる立場の代表として様々な提案を行い、計画に反映されたことは、ピボットフットといたしましても大変光栄な一年でありました。さらに審議委員会を通してスポーツ庁および団体関係者との情報交換を積極的に行うことができました。
2. 基本計画の骨格の一つとして地域スポーツの事業化、産業化が大きなテーマであることが確認でき、我々が進めてきた考え方が間違っていなかったことでさらに活動を深めていける原点となりました。
3. 文部科学省委託事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を地元で継続させるべく、ピボットフットが大田区から事業委託を受け 2 年目として実施することができました。経験豊富なトップアスリートが、区内総合型スポーツクラブの協力を得て 15 か所で実施し大きな成果が得られました。プロの指導者による技術指導を通してスポーツ界の底辺での普及の重要性とこの事業が継続的に行われる新しいスポーツインフラを構築する必要性を実感し、さらに行政と地域が一体となって検討していくことが大きな課題と考えます。
4. 今後とも、小学校体育授業への派遣コーディネーター（保健体育教員免許取得者）の充実と中学校部活動への支援は、地域スポーツクラブとしても協力して行うことで、幼児から中学生までの期間に安定的に専門家が正しい技術指導で良質のスポーツソフトを提供するシステム作りが重要なテーマと考えます。ピボットフットとして 2016 年度は、大森第十中学校の部活動へ 2 種目（野球、チアリーディング）、大森第一中学校バスケッ

トボール部に指導者を派遣し大きな成果が得られました。特に、十中チアリーディング部はUSA全国大会で部門2位の活躍、さらに、同校の野球部の応援や、ピボットフットチアリーディングの子供たちと一緒に地域活動が行われ、関係者に大変喜ばれました。

5. 本年度は東京オリパラに向け学校現場で教育の一環として、区内外7校の小中高等学校から理事長が講演依頼を受け「2020 東京オリパラと私」とのテーマで五輪の啓蒙活動をオリンピック経験者として児童・生徒に講演しました。特に、今年度は江東区特別支援学校からも依頼を受け講演とバスケットボール部の支援を行いました。
6. 理事長が理事を務める（一社）全国スポーツクラブコミッションが具体的に事業活動がスタートし、関連企業との連携事業が立ち上がり、今後はさらに全国各クラブと幅広く連携しての運営基盤の確立が急がれることとなり今後の展開が期待されます。一方、（一社）日本スポーツコミッションや日本スポーツクラブ協会とも連携協働を図るべく交流を深め、講演の機会を頂き、地域スポーツにおける具体的な提案をすることができました。さらに、東京・神奈川・埼玉・山梨の有志クラブと首都圏ネットワークを立ち上げ交流を深め、特に、東京所属クラブとは今後の東京スポーツクラブコミッション立ち上げを見据えて検討が始まりました。
7. 本年度も理事長が積極的に大田区と協議して「大田区の街づくりも含めスポーツ施策として大田スポーツコミッション構想の具体的な展開について」の提言書をまとめ提案を行い、区としても前向きにとらえて頂き議論が進みました。また、大田区の地域包括ケアシステムを考える会の世話人として理事長が参画し、地域スポーツと地域包括との今後の連携協働の検討が行われました。
8. 大田区総合型スポーツクラブ連絡協議会（おおた地域スポーツネットワーク）が中心に7月大田区総合体育館で、第三回大田スポーツ健康フェスタが開催されピボットフットからバスケットボール・チアで約80人が参加し会場を盛り上げました。また、今回も吉本興業の芸人さんやスポーツタレントさんにも参加頂き大変楽しいイベントとなり、その橋渡しに全国スポーツクラブコミッションとしてお手伝いすることができ今後の発展に期待が寄せられます。さらに、3月新企画として「おおた企業スポーツ祭り」を地元企業と地域スポーツ、大田区行政が協働し全国的にも初めての企業対抗運動会を開催し、大変大きな盛り上がりを見せ健康経営・働き方改革との視点から企業従業員へのプログラム提案等地域スポーツとの今後の展開が期待されます。
9. 都立蒲田高校とはエンカレッジスクール9年目にあたり、継続して体験授業の市民講師を、ピボットフットから4種目の授業に講師を継続派遣、学校が年々変わってきていることを実感しました。また、蒲田高校からは「体力気力鍛錬道場」の講師として授業を担当、都立雪谷高校か

らは「教育支援体制構築事業地域コーディネーター」として男子バスケットボールの指導に当りました。授業も部活指導も好評を博し学生の手ごたえもあり今後の期待も大きくなりました。さらに、蒲田高校を拠点に倶楽部との協働で新しい地域スポーツ文化形成で今後の展開が期待されます。また、理事長が本年度も蒲田高校および都立雪谷高校から学校運営協議会の委員として委嘱を受け参加しスポーツの専門家として種々提案をさせて頂きました。

10. 運営委託を受けているヤマト運輸(株)羽田クロノゲートヤマトフォーラムも少しずつ地域に浸透し、2016年度のアリーナー稼働率 91.2%、登録団体の累計が 141 団体、利用延べ人数 39,386 人、トレーニングジム登録者 2,005 人、利用延べ人数 11,155 人で順調な運営となっております。ピボットフットとしての自主事業で、中学生や成人一般へのバスケットボール教室、主婦熟年層への機能改善体操、小学生のリズムダンスの各教室を開催し地域の方へスポーツの場を提供することができました。フォーラムを中心に展開する地域クラブの視察も国内外からの視察を受け入れ、地域スポーツの関心の高さが伺われました。
11. さらに、理事長がヘッドコーチを務めているヤマト運輸の女子バスケットボールチーム発足 3 年目となり、実業団連盟主催の各種大会に参加、本年度から 1 部リーグでの参戦となりリーグ戦 4 位、関東選手権 5 位、全国実業団選手権大会ベスト 8 と成果の出たシーズンでした。2017 年度のさらなる活躍が期待されるところです。また平行して、バスケットボールスクールやクリニックも開催し地元小中学生に大変好評で今後の展開が期待されます。
12. 基幹事業である①バスケットボール教室は、小学生から成人まで 8 クラスの開催で年間 159 人の参加者を迎え、②テニス教室で 23 人、③高齢者対象の健康体操教室で 20 人、④チアリーディングでは、雪谷・出雲・池上教室合計で 199 人、⑤クロスミントン教室で 4 人（ピボッター 47 人）、⑥ビートフィットネス教室で 19 人、⑦リズムダンス教室では、蒲田・羽田・大森教室合計で 101 人、⑧サッカー教室で 29 人、⑨機能改善教室で 13 人、⑩大人のバレーストレッチ（新規）教室で 22 人、⑪忍者ナイン（新規）教室で 23 人、⑫学習支援教室 8 人、⑬バスケットボールフリータイム 40 回の開催で 1,145 人、⑭バスケットボール雪谷シニアチームと羽田チーム（新規）で 20 人、2016 年度倶楽部在籍総数は、620 人で、年間延べ教室開催は 1,670 回、延べ参加者は 22,136 人となりました。ヤマトフォーラム利用延べ人数を加えると 72,677 人にピボットフットが提供するスポーツソフト・ハードに参加したことになりました。バスケットボールでは、既に活動している雪谷シニアチームと新たに羽田一般チームが結成され、ピボットフットとして大田区バスケットボール連盟主催の大会に参戦し、活動の場が広がりました。リズムダンス教室の有志 5 人が 7 月 30

日アメリカロサンジェルスで開催された WORLD OF DANCE 大会 KIDS 部門に参加し4位入賞を果たし貴重な体験をすることが出来ました。

13. 日本スポーツ鬼ごっこ連盟の指導のもと、地元スポーツ推進委員・青少年対策委員会・総合型スポーツクラブともタイアップし「大田区スポーツ鬼ごっこ連盟」を設立し、体験会や講習会、女性大会（ガールズ杯）を開催し、参加者はまだ少ないものの今後の展開が期待されます。さらに大田フライングデスク協会も設立し2017年度での本格的な活動を展開予定です。さらに、(株)スポーツワンや(株)クリスタリアと協働でバスケットボール1 Day 大会を開催したり、本年度は、企業との協働事業が具体的に展開できた年でもありました。また、葛飾区社会福祉協議会よりチアダンス教室に継続して講師派遣要請があり指導員を派遣し交流がなされました。
14. 日本クロスミントン協会（会長：桑田理事長）として2016年12月に、埼玉県で世界連盟公認のジャパンオープンを開催し、ヨーロッパおよびアジアからも選手が参加し総勢約120人の大会となり、外国選手からも高く評価を受けました。2017年度には世界大会を大田区で開催し、その中でアジア連盟設立の検討することでさらに発展が期待されます。
15. 昨年につき、雪谷チアジュニアクラスの中学・小学生高学年選抜編成インフニティチームが、2017年2月18日駒沢体育館で開催されたUSA ナショナルズ東京都予選を部門3位で通過、3月26日幕張メッセで開催された全国大会に出場、また、小学生編成のスパークルチームも前掲大会に参戦、東京都予選で部門1位で通過、本大会での活躍が期待されましたが両チームとも入賞を果たせず、来年度での雪辱が期待されます。また、12月23日に第三回自主発表会をゲストチームをお迎えしてヤマトフォーラムで開催することができ約800人の参加者で大盛況となりました。
16. 大田区の行事や商店街等地域のイベントや大会に年間で約90回参加し活動を広めました。其々での参加者の反応は非常に良く、特に世代や学校さらに地域間を超えた一体感が自然に沸いてきたことも、倶楽部の考え方や提供内容が参加者および関係者に評価されたと思います。
17. 地域との関係強化は、継続して大田区より区主催の「区民スポーツまつり」や「大田ふれあいフェスタ」、「各文化センター祭り」「わくわくスクール」等のイベントに出演要請を頂き地元スポーツ関係団体以外との関係も深くなってきました。
18. 課題としては、倶楽部の活動のPRは、まだまだ口込みでの情報伝達故に多くの区民には至らず、事業採算的にはさらなる努力と運営面も含めて総合的な改善がより必要である。特に大きな課題として、安定的な会場と質の高い指導者および事務職員の確保によるマネジメント機能の強化・充実のための財務基盤の確立が継続的なテーマとなります。

Ⅱ. 事業内容

(1) スポーツ教室事業

1) バスケットボール教室

- ① 小学生 i 馬込地区 2・4 土/月午前 4月～ 馬込中学校体育館
入会者 6 人、年 12 回、延べ 65 人参加
- ii 蒲田地区 1・3 土/月午後 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 35 人、年 23 回、延べ 423 人参加
- iii 出雲地区 1・3 木/月夕方 4月～ 出雲小学校体育館
入会者 27 人、年 23 回、延べ 560 人参加
- iv 久原地区 2・4 月/月夕方 4月～ 松仙小学校体育館
入会者 13 人、年 24 回、延べ 246 人参加
- v 調布地区 2・4 月/火夕方 8月～ 東一小学校体育館
入会者 16 人、24 回、延べ 246 人参加
- vi 矢口地区 2・4 金/月夕方 4月～ 矢口中学校体育館
入会者 18 人、年 24 回、延べ 332 人参加
- vii 羽田地区 2・4 金/月夕方 1月～ ヤマトフォーラム
入会者 14 人、年 24 回、延べ 222 人参加

② 中高校一般

- i 蒲田地区 1・3 日/月夕方 4月～ 蒲田高校体育館他
入会者 10 人、年 24 回、延べ 189 人参加

③ 雪谷シニアチーム (40 歳以上)

ピボットフット OBOG 関係者中心に 10 名が年間 18 回の練習で、延べ 209 人が参加し、大田区バスケットボール連盟主催大会に参加しました。

④ 羽田一般チーム

バスケフリータイム参加者中心に羽田地区で一般チームも新規に活動をはじめ年間 25 回の練習で延べ 225 人が参加し来年度には大田区バスケットボール連盟に正式に登録し活動に期待が膨らみます。

⑤ バスケフリータイム

フリータイムを 40 回開催し延べ参加者 1,145 人の方に思いのスタイルでバスケットボールを楽しんで頂きました。

2) テニス教室 (蒲田地区)

- ① 対象 小学生から成人 (10～54 歳)
- ② 開催日 4月～ 2回/月 日曜日午前 年 52 回開催
- ③ 参加者 入会者 23 人、延べ 290 人参加

- ④ 場 所 蒲田高校・桜台高校テニスコート
- ⑤ 内 容 初級・中級者を対象としたテニススクール
- ⑥ 倶楽部交流試合 1 回
 - i 期 日 2016 年 10 月 16 日
 - ii 場 所 雪谷高校テニスコート
 - iii 参加者 教室会員・一般
 - iv 主 旨 倶楽部会員家族との交流試合
- ⑦ 倶楽部お楽しみ会
 - i 期 日 2017 年 3 月 16 日
 - ii 場 所 蒲田高校テニスコート
 - iii 参加者 教室会員・一般
 - iv 主 旨 倶楽部会員家族との交流試合

3) 健康体操教室（雪谷地区）

- ① 対 象 洗足地区 50 歳～の中高齢者
- ② 開催日 4 月～ 毎週金曜日の午後 年 49 回開催
- ③ 参加者 入会者 20 人、延べ 729 人参加
- ④ 場 所 (株)ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 高齢者向け健康体操
- ⑥ 協 力 利根川 K スタジオ

4) チアリーディング教室ビッキーズ（雪谷地区ジュニア）

- ① 対 象 幼稚園～小中学生
- ② 開催日 4 月～ 毎週土日月曜日 563 年回開催
- ③ 参加者 入会者 135 人、延べ 8,227 人参加
- ④ 場 所 雪谷中学校・大森十中体育館、(株)ニチレイ研修センター体育室他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上・USA ナショナルズ大会や地域イベントの参加
- ⑥ ヴィッキーズ インフイニティ強化合宿
 - i 期 日 2016 年 12 月 25～27 日
 - ii 場 所 江東区 BUNMB
 - iii 参加者 インフイニティ 20 人
 - iv 主 旨 USA ナショナルズ大会に向けての強化合宿
- ⑦ 第四回ヴィッキーズチアリーディングフェスティバル
 - i 期 日 2016 年 12 月 23 日
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 800 人
 - iv 主 旨 自主発表会でのチア演技と交流
- ⑧ USA ナショナルズ全国大会
 - i 期 日 2017 年 3 月 25 日・26 日

- ii 場 所 幕張メッセイベントホール
- iii 参加者 35 人 (インフィ、スクール)
- iv 主 旨 競技チアとしての大会参加

5) チアリーディング教室ビリーブス (出雲地区ジュニア)

- ① 対 象 幼稚園～小中学生
- ② 開催日 4月～ 毎週火曜日 年 106 回開催
- ③ 参加者 入会者 33 人、延べ 1,590 人
- ④ 場 所 出雲小学校体育館他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上／倶楽部は運営協力
- ⑥ イベント チアリーディングフェスティバル、OTA フェスティバル、萩中ふれあいまつり等地域イベントに参加

6) チアリーディング教室タートルズ (池上地区ジュニア)

- ① 対 象 幼稚園～小中学生
- ② 開催日 4月～ 毎週日曜日 年 49 回開催
- ③ 参加者 入会者 31 人、延べ 1,246 人
- ④ 場 所 池上第二小学校体育館他
- ⑤ 内 容 基礎技術の向上／倶楽部は運営協力
- ⑥ イベント 体育の日、蒲田ハロウィンダンス、スポーツゴミ拾い等地域イベントに参加
8月・2月 J C A 大会エキシビジョンに参加

7) クロスミントン教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 30～50 代
- ② 開催日 4月～ 隔週土曜日 年 24 回開催
- ③ 参加者 入会者 4 人 (ビバクター 47 人)、延べ 220 人
- ④ 場 所 蒲田高校体育館
- ⑤ 内 容 日本初クロスミントンの基本と普及
- ⑥ イベント クロスミントンコーチ研修会を開催
 - i 期 日 2016 年 12 月 17～18 日
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 40 人
 - iv 主 旨 クロスミントン指導者研修と交流

※12月 24-25 日流山市で開催されたジャパンオープンに参加

8) ジュニアビートフィットネス教室 (大森地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 月曜日 3 回/月 年 72 回開催

- ③ 参加者 入会者 19 人、延べ 592 人
- ④ 場 所 大森第五小学校体育館他
- ⑤ 内 容 音楽にのって楽しくビートダンス
- ⑥ イベント **OKJ** エアロビックフエスティバル
 - i 期 日 2017 年 3 月 28 日 (火)
 - ii 場 所 大森スポーツセンター
 - iii 参加者 17 人
 - iv 主 旨 演技発表
 他 **OKJ** サマーカーニバル・競技会や地域イベントに参加
- ⑦ 協 力 **OKJ** エアロビックファミリー

9) リズムダンス教室 (蒲田地区)

- ① 対 象 小学生、中学生以上一般
- ② 開催日 4 月～ 小学生火曜、一般土曜日 3 回/月
- ③ 参加者 入会者 54 人、延べ 1,656 人 年 108 回開催
- ④ 場 所 蒲田高校体育館、公団集会室他
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス
本年度より強化クラスが新設されました。
- ⑥ イベント ミッキーダンスキャンプ (全教室)
 - i 期 日 2016 年 5 月 8 日 (日)
 - ii 場 所 ヤマトフォーラム
 - iii 参加者 60 人
 - iv 主 旨 演技発表と交流

※7 月 30 日アメリカロサンジェルスで開催された **WORLD OF DANCE** 大会 **KIDS** 部門に有志 5 人が参加

10) リズムダンス教室 (羽田地区)

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 4 月～ 小学生月曜 3 回/月
- ③ 参加者 入会者 26 人、延べ 900 人 年 72 回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス

11) リズムダンス教室 (大森地区)

- ① 対 象 小学生
- ② 開催日 4 月～ 小学生水曜 3 回/月
- ③ 参加者 入会者 21 人、延べ 720 人 年 72 回開催
- ④ 場 所 入新井第一小学校
- ⑤ 内 容 ヒップホップを中心に楽しくリズムダンス

1 2) サッカー教室 (羽田地区)

- ① 対 象 幼稚園～小学生
- ② 開催日 4月～ 水曜、金曜日 8回/月
- ③ 参加者 入会者 29人、延べ 1,065人 年 76回開催
- ④ 場 所 羽田小学校、タートルスカイフィールド
- ⑤ 内 容 サッカーの基礎中心に楽しくサッカー
- ⑥ イベント 親子サッカー大会
 - i 期 日 2016年 10月 30日 (日)
 - ii 場 所 東糀谷小学校
 - iii 参加者 40人
 - iv 主 旨 親子交流イベント
- ⑦ 協 力 (株)ファンルーツ

1 3) 機能改善教室 (羽田地区)

- ① 対 象 一般シニア
- ② 開催日 4月～ 金曜日 4回/月
- ③ 参加者 入会者 13人、延べ 429人 年 48回開催
- ④ 場 所 ヤマトフォーラム
- ⑤ 内 容 運動の習慣化と健康体操の基本・基礎動作の習得

1 4) 学習支援教室

- ① 対 象 雪谷チア教室参加者
- ② 開催日 4月～ 日曜日 4回/月
- ③ 参加者 入会者 8人、延べ 40人 年 9回開催
- ④ 場 所 公共施設
- ⑤ 内 容 勉強の習慣化と基礎学習でスポーツとの両立

※教室年間開催詳細一覧表は別紙参照

(2) ヤマトフォーラム運営委託

- 1) アリーナ 稼働率 91.2% 利用者合計 39,386人
(年度新規登録団体 19、累計 141 団体)
- 2) トレーニングジム 一日平均 40.8人
(登録者数 3,026人 年間延べ利用者数 11,300人)
- 3) ピボットフット自主事業
 - ① スポーツ教室 144回開催 延べ参加者 1,145人
 - ② バスケットボール一般開放 40回開催 延べ参加者 1,145人
 - ③ スポーツイベント 9回開催 延べ参加者 1,400人
(スポーツ鬼ごっこ、クロスミントン世界大会、ダンス等)

4) 地域イベント

大田区内ミニバスケットボール、家庭婦人バレーボール、剣道連盟、バトミントン協会、羽田糶谷 PTA 連合会等 8回 参加者 2,400人

日本デフバレー協会女子日本代表合宿、日本バスケットボール協会 3×3 日本選手権大会の開催 合計 14回 参加者 3,250人

(3) 大田スポーツゴミ拾い大会

1) 第五回池上地区スポーツゴミ拾い大会

池上の環境保全を住民主体で担う視点で池上小学校で実施

- ① 主催 実行委員会
- ② 共催 ピボットフット
- ③ 対象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2016年3月5日(土)
- ⑤ 参加者 31チーム146名・スタッフ50名 合計196人
- ⑥ 場所 大田区立徳持小学校中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い
収集ゴミ 94.51キログラム
優勝チーム：東急電鉄蒲田駅
2位：徳持小スマップチーム
3位：でんシェルジュB

2) 第八回大田スポーツゴミ拾い大会

羽田の国際化を視点に中萩中小学校を中心に実施

- ① 主催 実行委員会
- ② 共催 ピボットフット
- ③ 対象 地域の子供から高齢者、区民から地元企業人、トップ選手
- ④ 開催日 2017年3月26日(日)
- ⑤ 参加者
- ⑥ 場所 大田区中萩中小学校中心に半径2キロメートル
- ⑦ 内容 チーム制、競技ルール・時間・エリアの中でのゴミ拾い

※当日は雨のため大会は中止となりましたが、今年度から参加企業も運営側スタッフに参加していただき会議を重ねたことが、来年度に繋がる大きな成果となった。

(4) 年間イベント・講演会等の活動は、別紙一覧表を参照